

# 1 教育環境の変化

これからの子どもたちに、より良い教育環境を提供するために、まずは桑名市を取り巻く教育環境の変化についてご紹介します。



## 【これまで】

桑名市は旧市街地に加えて丘陵地に大規模な市街地整備を進めてきたことにより人口が増え続けてきました。1984年には児童・生徒数が**17,710人**（小学生11,987人、中学生5,723人）とピークを迎え、この時期にかけて、多くの学校を建設してきました。特に1960～70年代においては**24校もの学校を増築・新築**しました。学校現場では理解することを中心とした授業が行われ、文章を読み取る力や計算技能が身につけられました。

## 【現代】

社会の変化に伴い、学校現場にも大きな変化や課題が見られます。誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出し、持続可能な社会の作り手を育成することが求められています。そこで、小中一貫した教育や地域と学校との協働（コミュニティ・スクール）の推進、ICT環境の積極的活用、小学校における英語教科化などに取り組んでいます。一方で、教員の多忙化は看過できない状況となっています。

## 【これから】

1984年のピークから桑名市の児童・生徒数は減少し続けており、2023年度は**10,954人まで減少**し、2033年度には**8,437人とピーク時の半数以下**になる見込みです。また、老朽化した学校施設が続出することで、学校が教育内容の変化や社会変化に十分**対応できなくなる**恐れもあります。未来を担う子どもたちのために、桑名市では様々な変化にも対応できるような、より良い教育環境の実現に向けて、**学校再編に取り組んでいます**。

# 2 学校再編計画の策定

これから先の子どもたちが生きる未来を見据えた教育環境の改善を目指す、学校再編計画の策定についてご紹介します。

## 学校再編計画策定に向けた取組

学校再編計画は、「再編を契機として、桑名で学ぶ子どもたちが自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく。」そんな未来を切り拓く「**生きる力**」の育成を図るための教育環境づくりの推進を目的としています。

令和4年度

### 1 市民・児童生徒・保護者・教職員向けアンケートの実施

現在の教育環境および学校再編についてどう思っているのか、どのような教育環境が望ましいのかアンケートを実施



CHECK!

令和4年度に実施したアンケートの結果、回答者全体の**約77.3%**が『**学校再編を容認または推進**』と回答。

令和5年度

### 2 計画策定の基礎データとなる調査・分析の実施

将来の児童・生徒数の推計、施設状況などを把握して、新しい学校区（案）の検討資料を作成



令和6年度

令和7年度

### 3 多度地区を除く全学校区共通の指針となる『小中学校再編計画』の策定

学校再編の基本方針や、新しい学校区の設定、新しい学校の予定地候補、再編スケジュール等の計画を策定



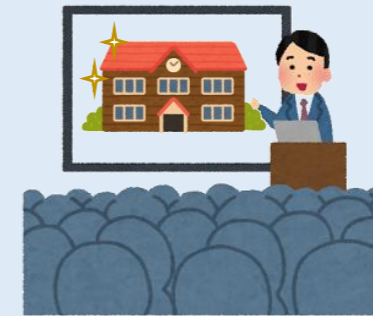
## 学校再編計画の策定

ここで策定する学校再編計画は、**桑名市全体の今後を考える計画**です。

- 1 保護者説明会や住民説明会、意見交換会等を通じて、みなさんの声をお聞きします。それぞれの声を基に学校再編計画（案）を作成。

説明会

意見交換会



パブリックコメント

2



作成した学校再編計画（案）をホームページに公開。パブリックコメントで改めてみなさんの声をお聞きして計画を策定します。

3

**各学校区別の再編については令和8年度以降に順次実施計画を策定**して、地域の皆様と意見交換しながら取り組んでいきます。